

# 9月例会は「怪しい彼女」

## 韓国コメディ映画

### 会員の皆様へ

オリンピックに湧いた、暑さ厳しい今年の夏も終わろうとしています。

ニュースでは毎号の様に、会員減による、会の存続の危機、大変な現状をお伝えしていますが、現在の会員数は131名(最高時は220名)、会員数の減少が止まらない状態です。

今の会員数では、年6回の例会を開催するのが大変難しく、例会作品を選定する会議で決まった映画が、価格面で折り合わず、上映を断念する事も多々あります。

加古川シネマクラブは、会員の皆様の会費で運営しております。

会の活動を継続していくためには、会員数を増やしていくことしかありません。

会員の皆様には、お知り合いの方、ご友人に、加古川シネマクラブを紹介していただきますよう、映画鑑賞の楽しさをお伝え、お勧めしていただきますよう、これからも、ご支援、ご協力を、心よりお願いいたします。  
(代表委員 津村)

### 例会のお知らせ

■名称/第86回例会『怪しい彼女』

■日時/9月14(水) ①PM 1:50—、②PM 4:10—、  
③ PM 6:30—

■場所/加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

#### 【例会作品データ】

■タイトル/怪しい彼女

■監督/ファン・ドンヒョク

■脚本/シン・ドンイク、ホン・ユンジョン、  
ドン・ヒスン、ファン・ドンヒョク

■出演/シム・ウンギョン、ナムニ、ジニョン、イ・

ジヌク、ソン・ドンイル、パク・イナン、ファン・ジョンミン、キム・スルギ、キム・ヒヨンスク、パク・ナヨン、キム・スヒョン、チャン・グァン

■データ/  
2014年、韓国、  
125分、  
コメディ/  
ファンタジー/  
ドラマ

■解説/若い時から貧しく苦勞してきた70歳のおばあさんが、突然20歳に若返って、現代の若者と恋愛し、青春を謳歌

する。そんな夢のようなお話のコメディ、いやファンタジー作品。韓国で公開されると、またたく間に、中国、ベトナム、日本でもリメイクされ、その後も世界各地でリメイク版が制作されている。今回は、そのはじまりの韓国版を鑑賞します。

■物語/キュートなルックスと並外れた歌唱力を持つハタチの女の子、オ・ドゥリ(シム・ウンギョン)。容姿とは裏腹に、彼女は歯に衣着せぬ毒舌で、わが道を猛烈に突き進む、最凶の20歳だったのだ。しかし、誰も彼女の秘密を知らなかった。実は70歳のおばあちゃんだということ。そんな“怪しい”彼女が突然現れてから、奇跡のような日々が始まった。一貧困の時代に女手一つ、生活や子育てに追われ、望むような人生を生きることが出来なかった。そんな彼女が“全盛期”を取り戻し、初めて思い通りの人生を歩んでいく。そして、いつしか彼女の魂あふれる歌声が、人々に夢を与えていく。自らの夢を実現し、恋に胸をときめかせる彼女が、そこで改めて気付くかけがえのない家族の絆と愛情。失われたものを取り戻した時、見えてきた本当に大切なもの。



人生はこんなにも辛くて、笑えて、楽しくて、涙あふれる。だから何度やっても素晴らしい！

(公式ホームページから抜粋)

## 楽しみな作品

楽しみにしている映画があります。9月に上映される「超高速！参勤交代リターンズ」。前作の続きで、国元に戻るまでの波乱万丈ストーリーです。(これは実話かどうか?)「武士の家計簿」「武士の献立」など実話が映画化されていますが、笑いあり、涙あり大いに娯楽映画として楽しんでほしい。

少し前の映画で「殿、利息でござる！」を見ました。時は江戸時代。藩から重い年貢の取り立てで、夜逃げが続く宿場町。この現状に困り果てた商家の旦那衆が考えたことは、「藩に大金を貸し付け、利息を巻き上げる—お上から年貢を取り戻す」という計画です。旦那衆は千両(現在貨幣で3億円)を目標にお金集めに奔走します。足りない分は宝物、家財道具も売り払い、庶民たちは小銭を稼ぎ、家族を奉公に出す、とにかくひたすら貯める・貯める。そして話を名主、大名主と出向き、藩へ話をもっていく。ここまで何年も何年もかかり実現していきます。

エンドロールで、アイデアとお金集めに頑張った旦那衆の商家がでてきます。平成の世に店が残っていることに実話の強みだと思いました。(芳明)

## 前回例会の報告

7月21日の例会は、第二次大戦の敗戦直前にソ連と満州の国境近くに送られ、敗戦とともにそのまま置き去りにされた中学生たちの過酷な逃避行を描いた戦争ドラマ『ソ満国境 15歳の春』を鑑賞しました。戦争ドラマですが、未曾有の打撃を受けた東日本大震災から1年後の福島の中学校の放送部の生徒が、中国北東部の小さな村の長老からの突然の取材依頼に応じて、67年前の15歳だった少年たちの壮絶な体験を知っていくという描き方のため、戦争の伝承についてなど考えさせられるところもあった。

参加者からも、戦争に対することなど多くの感想が寄せられた。

参加会員 97人、明石シネマクラブから9人参加。

## 明石シネマクラブ例会情報

■名称／『犬に名前をつける日』(2015年、日本、107分)

■日時／10月12日(水)

①PM2:00—、②PM4:30—、③PM7:00—

■場所／アスパシア明石9階子午線ホール

(JR明石駅東徒歩5分)

■解説／「すべては海になる」の山田あかね監督が、動物愛護センターから犬や猫を救い出している人々や、東日本大震災で置き去りにされた動物を保護する人々の活動を追った4年間の記録映像に、女優の小林聡美が主人公を演

じたドラマパートを加えて描いたドキュメンタリードラマ。愛犬のナツを病気で亡くしたテレビディレクターの久野かなみは、先輩の映画監督の勧めで「犬の命」をテーマにした映画を撮り始める。取材のため動物保護センターや原発事故の避難区域から救い出された犬たちのシェルターを訪れたかなみは、そこで一匹でも多くの動物を救おうと懸命に働く人々の姿に感銘を受け、ある決心をする。

■監督・脚本・プロデューサー／山田あかね

■出演／小林聡美、久野かなみ、上川隆也、前田勇祐、青山美郷

■受付／会場受付で、①加古川の会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■目的／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 131人(7月21日現在)

